

令和5年度  
山形県立保健医療大学 保健医療学部 看護学科  
総合型選抜（山形県内定着枠）

# 小論文

## 注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子の中を見てはいけません。
2. 問題は3ページ、解答用紙は4枚です。  
試験開始の合図とともに、直ちに問題冊子、解答用紙を点検し、印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および汚れ等があったら、手を挙げて監督者に知らせてください。  
ただし、問題の内容や解答の仕方についての質問は受け付けません。
3. 監督者の指示に従って、解答用紙のすべてに受験番号・氏名を記入してください。
4. 解答は、解答用紙の解答欄に記入してください。
5. 解答用紙の※欄に記入してはいけません。
6. 解答用紙のホッチキス止めを切り離してはいけません。
7. 問題冊子の余白等は適宜利用してもかまいません。
8. 試験中は監督者に許可なく自席を離れたり、私語や談笑をしてはいけません。
9. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

1

次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

平成 28 年国民健康・栄養調査結果によると、20 歳以上の国民の 1 日当たりの食塩摂取量の平均値は 9.9 g であった。一方、平成 28 年県民健康・栄養調査結果によると、20 歳以上の山形県民の 1 日当たりの食塩摂取量の平均値は 10.3 g であった。「健康やまがた安心プラン」では 20 歳以上の食塩摂取量の目標値を 8 g に設定し、食生活における減塩を提案している。

山形県には、昔から食塩を多く含む伝統的な食文化として、①（ ）があるが、長期間の食塩の過剰摂取は、②（ ）、③（ ）などの生活習慣病を引き起こす可能性がある。

出典) 平成 28 年国民健康・栄養調査結果の概要

平成 28 年県民健康・栄養調査結果報告

健康やまがた安心プラン「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法（循環器病対策基本法）」の施行等に伴う一部改正版（令和 4 年）

問 1 文章中の①～③にあてはまる語句を答えなさい。

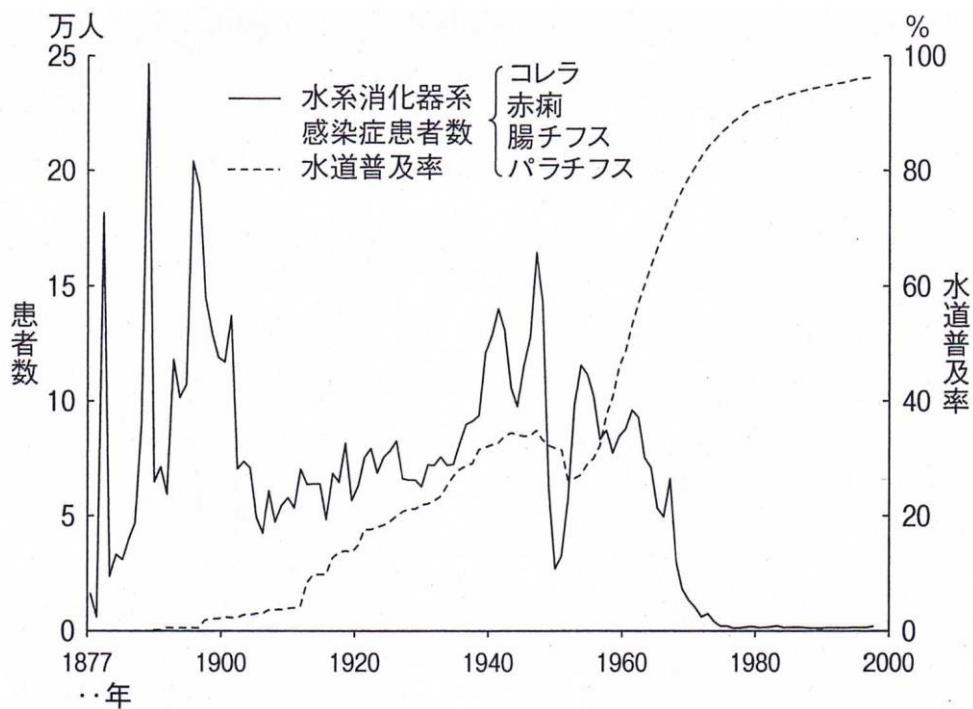
問 2 「健康やまがた安心プラン」が設定している食塩摂取量の目標値 8 g を達成するためには、日常生活で何をどのように改善することが必要か。あなたができる改善のための具体的な取り組みを 3 つ挙げ、それぞれについて説明しなさい。

## 2

下の問いに答えなさい。

問1 下の図は、わが国の水道普及率と水系伝染病（感染症）患者数の推移を示している。1960年以降の水道普及率と水系消化器系感染症患者数との関係について、図から読み取れることを述べなさい。

図 水道普及率と水系伝染病（感染症）患者数の推移



資料 厚生労働省医薬・生活衛生局水道課調べ

出典) 国民衛生の動向・厚生指針。一般社団法人厚生労働統計協会。  
2022；増刊・第69巻第9号 p289.

問2 山形県の地域特性を踏まえた上で、どのような生活環境（ただし、食生活は除く）がどのような健康問題につながっているか、両者の関係性を示しながら具体例を1つ挙げなさい。また、その健康問題をどのようにすれば防ぐことができるか、患者等の個人ではなく社会に求められる予防策を具体的に述べなさい。以上を300字以上400字以内で記述しなさい。

3

下の問いに答えなさい。

問1 あなたが後世に伝えたいと思う山形県の「モノ」「ヒト」「コト」のうち、いずれか1つをテーマに挙げて500字以内で述べなさい。

注)「モノ」とは物品や品物、「ヒト」は人物や人材、「コト」は事柄や現象を指す。

問2 問1で記述した文章にふさわしい題名を30字以内で付けなさい。